

ファッション部通信

2024年3月14日(金)
みなと総合高等学校
ファッション部
顧問: 會田祥子

少しずつ暖かくなり春らしさが感じられる頃となりました。ファッション部の皆様いかがお過ごしでしょうか？
日頃よりファッション部の活動へ、ご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。

「HoMmoku アジト」へ見学に行ってきました！

2025年2月2日(日)、2月6日(木)に、ファッション部の希望者で、横浜市中区本牧にある、「HoMmoku アジト」へ見学に行ってきました。こちらの施設は、「リトルファーム HOMMMOKU もくり」の敷地内にあり、“あるモノで過ごそう”というテーマを大切に、懐かしくも新しい空気が流れる Machi にするべく、日々いろいろな活動が行われています。私たちが見学へ伺った際は、このアジトの中にお邪魔して、運営をされている大岡かこさんよりお話をお伺いしながら、かんきょう文化祭の作品へのアドバイスをいただくことができました。

大岡さんは、このアジトの建物を使いやすいようにリメイクするところから活動されていました。例えば床材を張りなおしたり、押入れのスペースや照明の別の活用法を見つけたりなど。他にも、一見壁紙のように見えた物が、よく見るとミシン系だったり、いくつもある小さな引き出しを開けると、色彩豊かな糸やボタン、どこか懐かしい小物類に次々と巡り合えることができたりと、ときめきを感じました。白いレースも、よく見るとお花の種類が少しずつ異なったり、フリルの太さによって印象が変わったり、また同じ綿素材の布地でも触り心地が全く異なったり…。まさに被服を愛する者たちのアジトだなと、そんな素敵な空間でした。

看板も
手作り！



私自身もこの見学を通して、大岡さんや部員の皆さんとお話をしていると、改めて被服が好きだなと感じました。着られなくなったり使わなくなったりしたものを別の形に変えてみよう、考えを巡らせる楽しさや、自分の好きなものを仲間と話すことの楽しさを再確認できる、とても素敵なひと時でした。

今回も、見学に行った部員たちの感想の一部をご紹介します。昨年に引き続き2回目の見学となった部員もありました。何度訪れても楽しい場所でしたね！

大岡さんの作品を見せていただいたり、たくさん
の材料から選ばせていただいたりしたのでより作
りたい作品のイメージが具体的になりました！イメ
ージ通りのものがつくれるように頑張ります！

(N.Mさん)

牛乳パックなど普段捨ててしまうようなものを
リメイクして、引き出しにしていたり、資源を大切
にしたりすることを見て学べました！

(M.Tさん)

前回アジトに伺った時よりも色々なところがリノ
ベーションされていて、とても興味深かったです。
また、生地を選ぶ際には、どの生地を組み合わせ
れば自分の作りたいデザインができるかアドバイ
スをいただきました。作り方も丁寧に説明してい
ただいたので、自分の想像通りの服が作れるよ
うに一生懸命取り組んでいます。(R.Nさん)

見学させていただいたのは2度目でしたが、
初めて伺った時にも気がつかなかったお家の
工夫がたくさんあって、とても良い刺激になりま
した！

(S.Yさん)

お知らせ ~「かんきょう文化祭」について~

「かんきょうデザインプロジェクト 2024」の、「リメイクファッション」へ参加
いたします。このイベントが、ファッション部での最後の取り組みになる方もい
ると思います。素敵な思い出になるよう、参加者一同、心を込めて取り組んで
まいります。1日目は衣装の展示を、2日目はファッションショーを行います。
最終日には表彰式もあり、昨年度は本校の部員が大賞を受賞しました。

見学は自由です！お時間のある方は、ぜひ見に来てくださいね♪

◇日時：2025年3月22日(土) 11時~19時

3月23日(日) 11時~16時30分

◇表彰式：(フォトコン、リメイク作品)

3月23日(日) 16時~16時30分(予定)

◇会場：「みらいチューブ」

みなとみらい線みなとみらい駅 改札外コンコース

※詳細はコチラ! ☞ <https://kankyo-design.org/>



今年度も残すところあと僅かとなりました。2025年は巳年、^{へびどし}「再生や成長、変化、新しい挑戦を繰り返しながら柔軟に発展していく年」と言われているそうです。皆様にも、何か目標が見つかり、自分なりに挑戦し、成長や変化を通して、これまでやこれからの^み努力が^み実を結ぶ(巳にちなんで!)、そんな一年になることを願っております。🐍

ファッション部通信

2024年12月27日(金)
みなと総合高等学校
ファッション部
顧問: 會田祥子

年の瀬の、寒さが身にしみる季節となりました。ファッション部の皆様いかがお過ごしでしょうか？
本年もファッション部の活動へ、ご理解とご協力を賜りましてありがとうございました。

古布工場へ見学に行ってきました！



2024年12月19日(木)に、ファッション部の希望者で、秦野市にある、ナカノ株式会社の古布工場へ見学に行ってきました。こちらの工場では、回収した古着をアジアの国々へ輸出したり、ウエスや反毛に再利用したりすることで、誰かにとっては不必要なものを、必要としている他の誰かへと繋いでいく活動を行っています。実際に車の内装に使われていたり、軍手に姿を変えたりしているとお聞きして、新しい発見もありました。

見学の最後には、3月に行われます、「かんきょう文化祭」の衣装作りのためにと、いくつかの古着をいただき、衣類の可能性を感じるバトンをしっかりと受け取りました。見学に行った部員たちの感想を一部ご紹介いたします。

分別作業を手作業で人が行なっていると知り驚きました。状態の良い古着はそのまま海外に送られると知り、状態がいいけれど着なくなった服は捨てるのではなく、リサイクルに出したいと思いました。(H.Mさん)

実際に工場の様子を見て、一工程を数人で、もしくは1人でやっていてどんどん次の人たちに繋いでいっているような感じがしました。一見、1人1人が黙々と作業をしているようにも感じましたが、バトンを繋いでいるようで、結構連携プレーだなと思いました！(M.Tさん)

自分たちの古着がどこに行くか、どんなふうに使われるかを詳しく説明していただけてとても勉強になりました。とくに、反毛が車のシートに使われていたり、防音機能があたりと知っておどろきました。(S.Yさん)

工場の選別の様子を見ると思っていたよりも機械の出番が少なく力のいる作業が多く驚きました。現状では人にあげられるくらい綺麗な衣服しか回収することができずリサイクルではなくリユースの状態であると聞き何か地球のためにできることがないか考えさせられました。(M.Tさん)

衣服として使われていたものが自分の身近で意外なところに生まれ変わっていると知って、驚きました。まだ完全なリサイクルにはなっていないと聞いて、まずは自分で本当に必要なものだけ買う、まだ着られるように工夫をするなど衣類ごみの数そのものから減らしていけたらいいと感じました。(E.Wさん)

お知らせ

2025年3月末の週末に、みなとみらい駅にて開催されます、「かんきょう文化祭」へ、今年度も参加する運びとなりました。詳しい内容については、また改めてご連絡いたします。



最後になりますが、皆様がよい年を迎えられますことを、心より祈念しております。しっかりと心身を休ませて、新年に元気な姿でお会いできることを心待ちにしております。